相浦西小学校学校だより令和３年10月15日 【令和３年度　第１２号】（文責：校長　金子圭一）

校訓 強正美

学校経営の基本方針：「みんなが楽しい学校」の創造
子どもたちの行動目標
「あいさつ・へんじ
くつならべ」

【前期終業式、後期始業式を行いました】

・１０月８日（金）前期終業式、３日間の秋休みをはさんで１０月１２日(火)後期始業式を行いました。好天に恵まれたので、どちらも全校児童を運動場に集めて行いました。その時に話した概要をお伝えします。

（前期終業式）今日は「ふりかえりの日」です。始業式や入学式で「がんばるぞ」という気持ちをさらに大きくしている人もたくさんいます。５，６年生の朝の頑張りを保護者や地域の皆さんにも見て欲しい。あゆみにはそのがんばりが過程も含めて記録されています。できるようにがんばるのが得意な人はきっとこうしています。①できるようになりたいって心に強く思う。②どうすればいいか考えて決める。③決めたことを続ける。ここまでがんばれたのはみんなのおかげであることを確かめ、みんなで成長を喜びましょう。

（後期始業式）今日は「見通しの日」です。３月のゴールでの姿やゴールへの進み方が後期のめあてになります。その姿の手本は１つ上の学年です。つまり、みなさんは下の学年の手本です。１年生は来年の新入生の手本になります。自分がめざすゴールにたどり着くためにどうすればいいのか。①そうなりたいと心に強く思う　②そのためにどうすればいいか考えて決める　③決めたことを続ける。学校を楽しくするために「あいさつ、へんじ、くつならべ」を頑張っている人が多いが、頑張っていない人もいます。毎日通う学校を楽しい学校にしたいのか、したくないのか、自分で考えどうした方がいいか決めましょう。

・お気づきのように①②③は同じ内容です。これは、今年度の重点課題「学校を楽しく」によるものです。誰かがしてくれるのを待つ（依存）ではなく、子どもたち一人一人が当事者意識をもって、主体的に行動できるようになることをねらいとしています。ポイントは「自分で決める」ことにあります。そうすることで「責任」が生まれてきます。決して難しい判断を求めているのではなく、例えば、教室をきれいにするために掃除を頑張る方がいいのか、汚くていいので掃除を適当にする方がいいのかと選択させると子どもたちのほとんどが掃除を頑張る方がいいと答えます。「そうだよね。きれいな方がいいよね。」と次のステップへ進めていきます。実際はこんな簡単に進んでいくものではありませんが、子どもたちが主体的に課題に向かうよう、このような指導や働きかけを行っています。

・全校児童の代表者が終業式と始業式で作文発表を行いました。それぞれに式の目的に合った内容で、上記のような「ふりかえり」や「見通し」を中心に行っていました。さらに、課題意識をもって、自分で考え、決めた内容がたくさん盛り込まれていました。立派な発表内容と態度に他の子どもたちもいい刺激を受けました。代表者の名前だけを紹介させていただきます。

[前期終業式　作文発表代表者]
1年１組（森宗　麗）１年3組（吉村　杏）３年３組（田中莉子）５年3組（井手翔馬）

[後期始業式　作文発表代表者]
２年１組（山本未亜）　　４年１組（烏山力駆）　　６年１組（蒲原菜々香）

【何度も確認させていただいている内容です。】・歩いて登校する子どもたちの安全のため７時４０分～８時５分の２５分間は特別の事由がある場合も、敷地内（ロータリー）への車の乗り入れを原則禁止としています。（特別の事由のある場合はその時間帯を外してください。）